

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(平成30年度)

調査表

施設名	県立芸術劇場(メディキット県民文化センター)
指定管理者	公益財団法人宮崎県立芸術劇場
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)
県所管部課	総合政策部 みやざき文化振興課

1 施設利用状況

指標	H30	H29	H28	増減理由等
施設利用者数	272,554	254,725	250,971	貸館利用者数の増加による。
利用率(ホール)	78.3%	75.9%	79.1%	
利用率(練習室)	92.8%	91.4%	91.5%	
コメント	貸館利用者の増加等により施設利用者は増加している。また、練習室の利用率については、指定管理受託以降9割を超える高い利用率を維持しており、ホール利用率についても、例年並みの水準を保っている。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	H30	H29	H28	支出	H30	H29	H28
指定管理料	470,218	470,218	464,089	人件費	128,781	123,231	116,180
委託料	214,628	137,384	119,880	事業支出	593,728	579,756	588,630
利用料金収入	64,365	57,553	54,912	県納付金(寄附金)	5,293	1,861	566
基金取崩収入	5,000	0	15,000	修繕費	217,601	144,345	125,301
その他事業収入	207,012	193,415	177,925	その他経常支出	6,488	1,079	197
合計(①)	961,223	858,570	831,806	合計(②)	951,891	850,272	830,874
収支差額(①-②)	9,332	8,298	932				
コメント	<ul style="list-style-type: none"> 委託料は、大規模改修及び県立芸術劇場25周年記念事業に係るものである。 基金取崩収入は、舞台制作事業の集大成となる質の高い演劇公演を行うため、文化事業基金の取り崩しで実施したものである。 県納付金は、利用料収入が基準額を上回ったことによる。(超過額の1/2を納付。利用料金収入は、県納付額を含む。) 						

3 管理運営状況

※下線部分は、平成30年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃、定期清掃(2回)、特別清掃(ガラス・カーペット)
	保守・点検	舞台機構・照明・音響設備・空調機械、消防用設備
	警備	常駐警備
	修繕	県の改修実施計画を踏まえた修繕計画に基づき修繕を実施(30年度は照明設備ほか改修)
	備品等管理	ピアノ等定期点検実施
	安全対策	危機管理マニュアル整備(地震・火災)、安全管理日常点検、夜間を想定した避難訓練
	その他	光熱水費削減
企画運営業務	サービス提供体制整備	<ul style="list-style-type: none"> 貸館利用者をサポートするコーディネーターの強化、充実 接遇研修等によるサービス向上 インターネットを利用したチケット予約システムの設置 近隣飲食店とタイアップしたグルメマップの作成 ホームページのお問い合わせフォームや意見箱からのお客様の声への迅速な対応
	イベント等ソフト面充実	<ul style="list-style-type: none"> 自主文化事業の充実(公演内容の充実、県民等への芸術文化活動支援、県内公共ホールとの連携強化) 宮崎県公立文化施設ポータルサイトの開設 友の会会員への広報活動強化 テレビ、ラジオ等におけるパブリシティの充実 ホームページの充実 フェイスブック、メールマガジンの活用 劇場開館25周年感謝祭の実施
	施設設備等ハード面充実	<ul style="list-style-type: none"> 空調設備取替
	その他	美術館・図書館・博物館と連携した4館見学ツアーの実施
管理運営体制	29名(県派遣職員1名、正職員28名(平成30年4月1日現在))	
コメント	<ul style="list-style-type: none"> 県民の芸術文化活動の拠点として、宮崎国際音楽祭をはじめ良質な文化芸術を提供するとともに、県民に愛される劇場づくりに努めることができています。 音楽祭に関して、インターネットによるチケット販売やU25割引・親子割によるチケット販売の増加が顕著であった。 劇場は開館から25年を経過しており、施設の経年劣化が進んでいるため、今後とも計画的かつ効率的な改修に努めたい。 	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
公演内容は概ね好評であった。特に、親子で気軽に鑑賞できるコンサートや舞台公演、クラシック以外のジャンルの音楽公演も好評であり、様々な世代の方に親しまれている。	多様な音楽のジャンル、そして幅広い世代の方が楽しめる公演など、県民の多様なライフスタイルに応じた企画の実施に努める。
駐車場が不足のため、特に大規模公演開催時などは来館者からの苦情が多い。	公共交通機関の利用を呼びかけるとともに、美術館や図書館と連携しながら、臨時駐車場の確保や誘導に努めた。

5 総合評価

評価コメント	第三期指定管理期間では「顔の見える、親切的な劇場」づくりに取り組んでいる。施設利用者、ホール等利用率につき前年度を上回るなど、取組の成果が表れており、指定管理者制度導入の目的である利用者サービスの向上について、一定の成果が得られていると考える。
今後の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> 広報等の更なる強化や企画の充実により、自主事業の県民への周知を図る。特に、インターネットを利用したチケットの販売増加など変化が見られることから、ニーズを的確にとらえて対応していく必要がある。 また、利用者の多くが宮崎市及び周辺地域住民であることから、県内全域に波及効果のあるアウトリーチ事業をさらに推進するなど、より多くの県民が音楽・舞台等の芸術に触れる機会の増加に努める。 なお、駐車場不足については、引き続き文化公園全体の問題として取り組んでいく。